

-----12月5日----- 2022年

## ※ 今週のアウトルック(12/5~12/9)

先週は、ドル円、クロス円とも全般的には円高が進んだ週となりました。週末に発表された米国雇用統計は予想外に良好な結果となり、一時的にドル高が進みましたが、その後NY市場後半にかけて下落し134円台前半で終了しています。

今週は米国雇用統計の好結果をアジア市場などでどうとらえられるのか、米国利上げ幅縮小時期が来年にずれ込むという見方をどうとらえるのか。そのあたりがまずは焦点となりそうです。

先週のドル円は、下落基調が続き木曜日には134円台まで下落しました。金曜日に発表された米国雇用統計が良好な結果となり、利上げ幅縮小時期が来年にずれ込むとの思惑から、136円付近まで上昇しましたが、その後下落し134円台前半でNY市場を終了しています。

今週は、米国雇用統計の好結果を受けて、ドル安基調に変化が現れるかどうかはまずは注目されますが、来週以降のFOMCを待ってからという見方が強まる可能性はありそうです。

ドル円の予想レンジは130円から137円です。

先週のユーロは、週末には141円台まで下落しました。一方、ユーロドルは週末にレジスタンスラインだった1.05を超えてきたことから、更なる上昇が期待できそうです。

今週は、ユーロドルは上昇、ユーロ円は下落という複雑な動きとなりそうですが、一方的にドル売り円買いが続くとも考えずらいように思います。

ユーロ円の予想レンジは140円から145円です。

ポンドは、ポンドドルが上昇トレンドを崩していない為、ポンド円の下落は小幅なものとなっています。ただ163円付近のレジスタンスを抜けてしまうと一気に160円付近まで下落する可能性はありそうです。

ポンド円の予想レンジは160円から170円です。

全般的には米ドル売りが進んでいますが、今後の米国金利政策に大きな注目が集まっていることは確かなようです。

### \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。